

授 業 科 目 名	保育内容指導法 (音楽表現)	教 員 名	日高 まり子	免許・資格 との関係	小学校教諭	選択
					幼稚園教諭	必修
					保育士	選択
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科 目 番 号	FOI207	配当年次	2年前期	卒 業 要 件	小幼コース	選択必修
単 位 数	2単位				幼保コース	必修
科 目 目 的	領域及び保育内容の指導法に関する科目 (幼稚園)					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)					
一 般 目 標	<p>(1)領域「音楽表現」のねらい及び内容 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「音楽表現」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>(2)領域「音楽表現」の指導方法と保育の構想 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)領域「音楽表現」のねらい及び内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「音楽表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2)領域「音楽表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</li> <li>3)幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</li> <li>4)領域「音楽表現」において、幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</li> </ol> <p>(2)領域「音楽表現」の指導方法と保育の構想</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>2)領域「音楽表現」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</li> <li>3)指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</li> <li>4)模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</li> <li>5)領域「音楽表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</li> </ol>					
授 業 の 概 要	<p>幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された領域「音楽表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>本授業では、子ども自らが主体的に音楽にかかわっていくことができるように、保育現場で使われている音楽あそびなどの体験を通して、音や音楽とからだの動きや表情などの表現の相互関係を理解し、遊びを体得しながら音楽表現活動について学習する。心と身体で表現することの喜びを体験することができるよう創造的な授業を学生とともに作り上げ、実践的指導力を高める。具体的には、アクティブラーニングとして、グループ活動で日本語や英語による手遊びうた、リズム遊びや楽器遊び、パネルシアターの演技、わらべうたなどを中心に行い、幼児の発達段階に即した音楽教育法を研究する。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：オリエンテーション シラバスを配布し、本講義の流れについての理解を深める。 幼稚園教育要領の各領域のねらいについて理解する。					

	<p>NHK「おかあさんといっしょ」「英語であそぼ」等の参考番組を紹介する。毎回テキストの読み合わせを行い、表現活動のみでなく知識についても修得することを確認する。(目標(1)-1), 2))</p> <p>第2回：幼児の音楽的活動を実践していくための視点—聴く・歌う・動く・奏でる・つくる—について、それぞれの視点に対応する例を情報機器（視聴覚教材等）を利用して体験し、またその活用方法を理解する。さらに各領域との音楽的活動の関連について理解する。(目標(1)-1), 2), (2)-1))</p> <p>第3回：幼児が楽しいと感じる音楽活動の具体的な事例（プレゼンテーション等情報機器等を活用した事例も含む）を提案し、表現活動を経験することにより、表現活動と保育者の役割について考える。(目標(1)-2), 3), (2)-2))</p> <p>第4回：乳幼児の発達と音楽的な表現活動との関連を理解し、幼児音楽教育者（ダルクローズ・オルフ・コダーイ・鈴木鎮一・モンテッソーリ）について学習する。いずれかの教育法についてのグループで研究しレポートを作成し、プレゼンテーションする。(目標(1)-2), (2)-1), 2))</p> <p>第5回：日本の子どもの歌について、その歴史と伝承音楽を学習し、「ずいずいずっころばし」「お寺のおしょうさん当の他のわらべ歌を演習し、保育指導の展開について考える。(目標(2)-1), 2))</p> <p>第6回：英語の遊び歌 初めて英語に出会う子どものために[Calendar Song] [Are You Sleeping] [Bingo]他、親しみやすい英語の遊び歌や[Head, Shoulders, Knees, And Toes] [We Wish You A Merry Christmas] [Old McDonald Had A Farm]他多くの身体表現を伴った英語の遊び歌を情報機器を活用した視覚教材を使って経験する。(目標(2)-1), 2))</p> <p>第7回：保育における歌唱活動、身体表現活動、器楽活動の意義について理解し、それぞれの活動における教材の研究の仕方や実践的指導について情報機器を活用しながら学び、その活用方法を理解する。(目標(2)-1), 2))</p> <p>第8回：幼児が親しみやすい楽器を加えた活動① 四拍子の曲にタンブリンなどで「タンうんタンうんタンタンタンうん」のリズムを入れてたたくなど、童謡や遊び歌を歌うための適切な打楽器の奏法、遊び方を学び、保育指導の模擬活動の展開事例を考える。(目標(1)-2), 3), 4), (2)-3), 4))</p> <p>第9回：幼児が親しみやすい楽器を加えた活動② 鍵盤ハーモニカなどのメロディー楽器の奏法、遊び方を学び、保育指導の模擬活動の展開事例を考える。(目標(1)-2), 3), 4), (2)-3), 4))</p> <p>第10回：幼児が親しみやすい楽器を加えた活動③ ペットボトルによるマラカス、バケツや空き瓶の太鼓など、身近な素材を用いた手作り楽器を作成して演習し、教材研究の進め方について考える。(目標(1)-2), 3), 4), (2)-3), 4))</p> <p>第11回：幼児のうた① 幼稚園・保育園で歌われる「はをみがきましょう」「おかたづけ」「おべんとうのうた」「Happy Birthday」等の生活の歌を歌い、具体的な保育指導について考える。(目標(1)-2), 3), (2)-1), 4))</p> <p>第12回：幼児のうた② 幼稚園・保育園で歌われる、「うれしいひなまつり」「ジングルベル」「おしょうかつ」等の行事の歌を歌い、具体的な保育指導について考える。(目標(1)-2), 3), (2)-1), 4))</p> <p>第13回：幼児のうた③ 幼稚園・保育園で歌われる、「アイアイ」「おもちゃのチャチャチャ」「シャボン玉」等の愛唱歌を歌う。グループ発表する乳幼児の遊びの構成した模擬保育指導についての保育指導案を作成し、パネルシアター等の模擬指導に必要な教材教具研究し、模擬保育の準備をする。(目標(1)-2), 3), (2)-3), 4))</p> <p>第14回：発表① パネルシアターなど教材を工夫したグループでの模擬保育指導を実施し、お互いに評価する。(目標(1)-2), 3), (2)-1), 4), 5))</p> <p>第15回：発表② 実際の保育指導における乳幼児と子どもの遊びの音楽的活動を構成して模擬保育指導を実施し、お互いに評価する。(目標(1)-2), 3), (2)-1), 4), 5))</p> <p>期末試験：試験期間中に筆記試験を実施する。</p>
<p>学生に対する評価</p>	<p>グループ発表30%、手作り打楽器作品提出10%、レポート20%、期末試験40%で評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> </ul>

	・答案例を配布する。
時間外の学習について	(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) 事前学習：毎回、指導者より出された課題をしっかりと練習し、次回の発表に備える。 事後学習：講義内容について自分なりに整理し直し、次回授業までに何を練習するかを確認する。
テキスト	『教員養成課程 小学校音楽科教育法 新版』(教育芸術社) 『こどもの歌ベストテン』(ドレミ楽譜出版社) 『うたっておどっておもちゃ箱1・2』(教育芸術社) 『幼児のための音楽教育 改訂版』(教育芸術社) 『英語のあそびうた 第1集』村上康成 著 ラボ教育センター
参考書・参考資料等	『幼稚園教育要領〈最新版〉』 『保育所保育指針〈最新版〉』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈最新版〉』
担当者からのメッセージ	鍵盤ハーモニカ使用
オフィスアワー	月曜日 13:00~14:30